

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	四天王寺大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シテンノウジダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108125
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ、スクールサポーターⅠ、スクールサポーターⅡ
	学部・研究科等名	教育学部
	担当教職員名・役職	木村 雅則:教授、西岡 智:准教授、堂上 雅三:准教授、丸山 聡:准教授、辻本 光夫:非常勤講師、黒岡 恭子:非常勤講師、齊藤 仁保:非常勤講師
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	583
	受入企業等数	297
	受入企業等名	羽曳野市立羽曳が丘小学校、藤井寺市立藤井寺中学校 他295校
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動 5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
	上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本学にて配属した小・中学校における、教育活動全般について学ぶ体験活動(授業、学校行事、クラブ活動、校外学習、図書室運営、教材準備等の補助)。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部2年 大学 学部2年 大学 学部3年

項目	確認事項	届出内容	
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位	
		大学 1単位	
	2-5.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ(学部2年次夏学期):2単位 スクールサポーターⅠ(学部2年次冬学期):1単位 スクールサポーターⅡ(学部3年次冬学期):1単位 活動体験を通じ、現場の先生方の実践から学ぶと共に、子どもの実際の対応について学ぶことを目標に実施している。また、教職に対する自己の「強み」と「弱み」について認識を促す。週1回、朝の登校指導から参加する内容で10日間または13日間以上の実習が必要。	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	1.学校現場の基礎知識や守秘義務等の個人情報管理について、また事前訪問におけるマナー指導(第1回) 2.実習校を事前訪問して、体験参加前のオリエンテーション	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	体験報告会を実施している。 1.自らの体験を整理して、気づきを深める(自己評価) 2.お互いの体験内容を共有して、相互に学ぶ。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	元小学校長の巡回指導担当教員が実習校を訪問して、学生の活動状況や教育現場についての情報交換等を実施している。また、学生と面談を行い、体験中に発生した課題等の相談・指導にあたっている。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細		「GoogleForms」を利用して、学生の変容や課題を把握している。報告会における事後指導にて、参加学生全員に対しフィードバックを実施することで、次年度教育実習や教員採用試験へのモチベーションアップに資するような指導を行っている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	【2年生】週1回金曜参加:夏学期10回以上、冬学期13回以上、【3年生】週1回火曜参加:冬学期13回以上
	5-3.上記回答内容に関する詳細	「インターンシップ」 事前指導2回、事前訪問1回、体験参加10回、事後指導1回、事後報告会1回 「スクールサポーターⅠ」 体験参加13回、中間報告会1回、事後報告会1回 「スクールサポーターⅡ」 体験参加13回、事前説明会1回、事後報告会1回
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの趣旨等について、教育委員会等を訪問して担当者に説明をしている。意義や運営方法をご理解いただき、かつ学校現場のニーズに沿ったプログラムを構築している。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/syllabus/">https://www.shitennoji.ac.jp/ibu/syllabus/</a>	
問い合わせ先	大学等名	四天王寺大学
	担当部署名	教職教育推進センター
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	藤田有宏
	電話番号	072-956-5214
	メールアドレス	<a href="mailto:kyoshoku@shitennoji.ac.jp">kyoshoku@shitennoji.ac.jp</a>